

微量分析の最前線

～ PFAS規制と分析手法 ～



製品や環境に含まれる微量の化学物質を精度高く測定する分析技術は、近年ますます重要性を増しています。本講演会では、化学物質の中でも近年特に関心が高まっているPFASを取り上げ、基本的性質と規制動向、さらに前処理から定量までの分析実務について、お二人の講師にご講演いただきます。

日時 令和7年**12月2日**(火) 14:00～16:10

場所 名古屋市工業研究所
管理棟3階 第一会議室

<https://www.nmiri.city.nagoya.jp/aboutus/access/>



アクセス

定員 60名

参加費 **無料** プログラム・申込方法は裏面をご覧ください

(お問い合わせ先) 名古屋市工業研究所 材料技術部表面技術研究室
TEL: 052-654-9882 (柴田)

主催: 名古屋市工業研究所

協賛: 東海無機分析化学研究会、愛知県プラスチック成形工業組合
(公財) 名古屋産業振興公社、中部プラスチック金型協同組合
愛知県鍍金工業組合、(一社) 表面技術協会中部支部
(一社) 中部日本プラスチック製品工業協会

プログラム・講演概要

14:00～15:00 講演「PFASとは何か～基本的性質から 規制動向及び検出事例の紹介～」

講師 (一財) 東海技術センター 原田 祥行 氏

講演概要 有機フッ素化合物 (PFAS) は、難分解性や生物蓄積性から一部化合物 (PFOSやPFOAなど) で人及び動植物に対する慢性毒性が懸念されている化合物です。本講演では、PFASの持つ基本的性質や定義、用途について概説します。あわせて、国内外での最近の規制動向や実際の検出事例について紹介します。

15:10～16:10 講演「PFAS分析の最前線～前処理から分析まで～」

講師 日本ウォーターズ株式会社
マーケティング本部 シェリー チョウ氏

講演概要 PFAS規制の強化に伴い、多様な物性を有する化合物群に対して、高感度かつ再現性の高い分析法が求められています。本講演では、PFASの前処理から分析までを網羅するウォーターズのトータルソリューション、実践的なノウハウ・知見、環境試料および製品・材料中のPFAS分析例をご紹介します。

参加申込方法

メールまたは FAXにてお申込みください。

【申込先】 名古屋市工業研究所 材料技術部 表面技術研究室 柴田信行

E-mail : shibata.nobuyuki@nmiri.city.nagoya.jp

FAX: 052-654-6788 (共通)

■ 申込締切：11月25日 (火) ■

※メールの場合は本文に下記申込書の内容をご記入の上お送りください。
参加証等は発行いたしません。断りの連絡がない限り、どうぞお越してください。

分析技術講演会 申込書

ふりがな 会社名			
所在地	〒		
参加者	所属		
	役職		
	氏名		
連絡先	TEL :	E-mail :	
<p>・工業研究所では、ものづくり企業のお役に立つ技術情報、当所主催のセミナー・講演会、技術研修やイベントの情報などを掲載したメルマガ「NMIRI技術ニュース」を毎月1回配信しています。</p> <p>・配信ご希望の方は、当所ホームページ内メルマガジン登録ページから登録ください。</p> <p>○メルマガジン登録ページ：https://www.nmiri.city.nagoya.jp/mailmagazine/</p> <p>・なお、登録方法がご不明な場合は以下の「希望する」に○をつけてください。 メルマガジン (NMIRI技術ニュース) の配信を【 希望する ・ 希望しない 】</p>			



メルマガ
登録ページ

※ご記入いただきました個人情報は、参加者への連絡・講師への情報提供などの講演会目的、希望者へのメルマガ配信以外には使用いたしません。